



Title	草場校長を海外に送る詞
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Citation	各務時報, 56
Issue Date	1931-10-30
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/77682
Type	column
File Information	A018_02_03all_Part14.pdf



[Instructions for use](#)



各務時報



第五十六號

岐阜高等農林學校友會

昭和六年十月三十日發行

草場校長を海外に送る詞

草場校長には文部省の命を受けて約六ヶ月の豫定をもつて歐米諸國に於ける教育制度視察の旅行をされる事になり去る二十二日日本の地を去られた。校長の此六ヶ月の經驗が校長自身に又私等にどんな影響を齎すか、私等はそこに大きな興味を感じずには居れない。本校に於ける教育の實際や特に農林産物利用加工の研究並びに教授の方面に關して必ずや一段と識見を磨いて來られる事と深く信じて居る。私等はそこに出来る丈大きな期待を持つてよいであらう。

唯然しながら老軀單身山海幾千里の旅に上られる事を思へば僅かに六ヶ月ではあるけれども惜別の情に堪へないものがある。幸に自重自愛せられん事切に禱るものである。

各務時報第五十六號目次

草場校長を海外に送る詞……………(表紙)

滯歐雜錄(四)……………松野教授

研究

蕃茄に對する或種金屬の效果……………市川親文

文苑

疑惑……………鈴木教授

田園生活……………市川生

秋片片々……………A3野口

部報

戰績を語る……………ラグビー部

庭球部報告……………庭球部

雜報

農學會情報

學校日誌

編輯後記